

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております

2465号

毎週月曜日発行

発行所 **全国町村会** 〒100 0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03 3581 0486 FAX03 3580 5955

発行人 谷合靖夫：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110 8 47697

<http://www.zck.or.jp>

閑話休題

「日本の若者の郷土愛は少ない。わが国の農山村には、もっと多くの若者がいる。」と、ジェトロ(日本貿易振興会)とも親しいドイツの人口一五〇〇人の村で村長が一〇年以上も前に言っていた。

昨年末、四国の山間部で、地元の過疎対策に貢献しようとする六〇歳代半ばのご夫婦に出会った。お二人は定年後、ヤブツバキの大木や柵田を活かしたグリーン・ツーリズムや七〇、八〇歳の地域住民を想ったネットワーク事業を試みようとしている。しかし、彼らの思い入れと努力だけでは、周辺住民全体の生活の豊かさには結びつかないだろう。

一方、中国山地の小さな町の「道の駅」では、数々の薬草入りの香ばしい薬膳パンが並び、農家の婦人が採れたての農作物を販売している。その奥に行列のできる洋風薬膳料理レストランがある。ご飯は黒米、お



雪だるま

自助・自立のための前提条件

九州大学大学院法学研究院教授 木佐 茂男

正月料理風にアレンジされた薬膳ランチが出され、薬草の種類と効能を説明してくれた。昨今の健康ブームにも乗って、地元の新鮮食材を都会的センスで食する発想が顧客ニーズに合致している。

確かに、農業生産者の起業や二ユービジネスへの試み等、住民自

治による点や線の規模での地域づくり、地域起こしの成功例はある。だが、一人勝ちがあっても地域全体の底上げは難しい。

日本中の過疎地では、少子高齢化が限界にきている。地方分権、情報化、IT化時代と言いつつ、首都圏への人材と管理機能の一極集中が

進む。卑近な例では、大学人も関東近辺への転職を目指し、首都圏以外の大学は情報収集や就職対策のために都内にサテライトを持たざるを得ない。企業は本社を東京に移し、支社廃止も目につく。果たして、地域の自助努力不足なのか、国策の失敗なのか。

ドイツの小さな町や村には、職業訓練施設や調査研究機関等、実に多くの連邦や州の各種機関がある。高学歴、高収入の人ほど田舎に住んでいる。それは、医療と教育、生活に不安がないことに加えて、ムラ的な閉鎖性や郷土愛の強要がないから可能なのだろう。

他人の生き方や思想に寛容で民主的な地域社会づくり、アントレノ創業者精神をもった人材の確保、そして国策として官公庁や大企業等の意識的な地域配置が徹底されなければ、農山漁村地域の荒廃は止まらない。まさしく、世界に数十年遅れた日本ムラの三位一体改革が求められる。

もくじ

論 説	風土の豊かさの守り手として = 日本経済新聞社論説委員兼編集委員 松本克夫.....(2)
政 策	地方公共団体の勤務条件等に関する調査結果 = 総務省(4)
フォーラム	住民と行政の協働による鳴き砂保護 = 京都府網野町.....(6)
情 報	カプセルNOW & NEW(9)
情 報	政策レーダー(11)

論 説

◆町村の危機と都市の逆襲

年が明けても、町村を巡る厳しい状況に変わりはない。多くの町村にとって、今年も存亡の分かれ目になるかもしれない。

小泉内閣が掲げる三位一体改革の初年度は期待はずれに終わった。二〇〇四年度は約一兆円の補助負担金を削減するものの、そのうち地方に税源移譲されるのは四千二百億円余りでしかない。公共

痛い。国の公共事業や地方単独の公共事業も縮小の一途だから、国から町村に回る金はますます細る。

おまけに、メキシコや韓国、タイなどとの自由貿易協定(FTA)締結を急ぐため、政府は農産物の一層の市場開放と農業の構造改革を推進する方針だ。農村での離農、耕作放棄、過疎化がさらに進みかねない。

町村の苦境を救うと称して、市

んではいるのだが、どちらかといえば経済のグローバル化と財政危機に対応した国、地方を通じた行政のリストラという色彩が強い。

とりわけ標的は町村だ。田舎を持たない都市住民の増加によって、町村部への財政資金の還流に対する批判は強まっている。それが農村から都市に政策の軸足を移すという政治の転換につながっている。

今年も参議院選挙の年だが、三

どはその典型だ。構造改革はグローバル化と財政危機を背景にした都市、特に東京の農村に対する逆襲ともいえる。

◆都市の不安と病

来年度予算の焦点の一つは年金問題だった。老後への不安は強い。少子高齢化、人口減少時代への突入といった明白な統計的な事実が経済の停滞予想とあいまって不安をかきたてる。終身雇用が日

視 点

風土の豊かさを
守りまもって

日本経済新聞社論説委員兼編集委員 松本克夫



まつもと・よしお 1946年群馬県生まれ。69年日本経済新聞社入社。和歌山支局長、熊本支局長を経て、99年から論説委員兼編集委員。

事業関係の補助負担金は削減した分の一部が交付金などの形で地方に配分されるものの、多くは事業そのものを廃止するという理由で税源移譲の対象にならない。これでは国の財政再建策ではあっても、税財源の分権とはいえない。

町村合併への圧力は増すばかりだ。地方制度調査会の答申は、都道府県が小規模町村の合併構想を策定する際の目安として、「人口一万未満」という具体的な数字を示した。総務省は法律には数字を盛り込まない方針だが、将来の強合合併の導入を示唆した一昨年の西尾私案と同様、この数字が無言の圧力となって町村にのしかかるに違いない。

町村合併への圧力は増すばかりだ。地方制度調査会の答申は、都道府県が小規模町村の合併構想を策定する際の目安として、「人口一万未満」という具体的な数字を示した。総務省は法律には数字を盛り込まない方針だが、将来の強合合併の導入を示唆した一昨年の西尾私案と同様、この数字が無言の圧力となって町村にのしかかるに違いない。

不安を取り除く一つの道は、夢よもう一度で、再び経済成長軌道に戻るにせよ。しかし、あれも欲しいこれも欲しいという欲望

論 説

にとりつかれていた時代とは違い、消費をあおるのは容易ではない。それに、豊かさを追い求めた結果どうなったか、胸に手を当てて考えてみた方がいい。少年による凶悪犯罪、児童虐待、家庭内暴力、ストーカーといった社会的な事象をどうとらえればいいのか。それらは経済が停滞したから起きたわけではない。刑事事件として扱われているが、いずれも豊かな社会の心の病といふべきものだ。

心の病の要因はいくつもあるだろうが、地域の変質もその一つである。地域を理念型としてムラ、マチ、ハズレ(郊外)の三つに分けてみるとわかりやすい。一つの市町村の中にこの三つが共存している場合もあれば、無秩序に混在している場合もある。戦後の民族大移動的な都市化や車社会化がもたらしたものは、ムラ、次いでマチの崩壊とハズレの膨張である。日本はハズレ型社会になりつつある。

根無し草にし、心の病の温床になりやすい。

経済の物差しで測れば、町村はおしなべて苦境にある。しかし、なお多少とも連帯感が残り、風土に浸っている町村部には比較的心の病は少ない。豊かさの中で病んでいるのはむしろ地域に生活の支えを持たない都市の側、それも特にハズレにある。しかも、豊かさを追求すればするほど不安は募り、心の病も進行する。つまり経済の豊かさを追い求めてきた結果、町村部は経済的に疲弊し、都市部は心の病という難病を抱えたことになる。都市が町村部への財政資金の還流にいら立つのは、実は自らが病んでいるからだ。

◆連帯原理で再生を

町村部の疲弊と都市の病が裏腹の関係にあるとしたら、二つを同時に解消する道筋を探るしかない。ことさらに都市と農村を対立させ、財政面での町村優遇に諸悪の根源があるかのようにあおり立てるのは、都市の病を見越した危険な風潮だ。町村切り捨て的な市町村合併も財政再建に役立つだけで、日本の社会が抱える問題の根本的な解決策ではない。

都市の病を癒す一つの道は、会社に代わる支えを地域でつくり出すことだ。誰でも何らかの役割を果たせ、定年も失業もないまちづくりの活動があれば、老後の不安も和らぐ。NPOや地域通貨を活用した助け合いの仕組みや、コミュニティビジネスの創出などがあればなおいい。もう一つは、風土的存在であることを取り戻す仕掛けをすることだ。地元でピオーターや市民農園などの自然との触れ合いの場をつくる一方で、農村との交流により第二のふるさとを見つけるのがいい。

二十世紀に追求した豊かさは金で勘定できる経済の豊かさだった。それは世界のどこでも通用する普遍的な豊かさだが、それに目を奪われているうちに、それぞれの地域が持つ固有の豊かさを見失ってしまった。普遍的な豊かさに対して、風土の豊かさというべきものである。その土地の産物を材料にした料理も、営々と築いてきた棚田の風景も、風土の豊かさである。物を買って消費する豊かさに対して、手づくりの豊かさである。市場での競争原理が生む豊かさに対して、結いのような連帯原理が生む豊かさである。競争原理に覆い尽くされて病んだ都市は農村から風土の豊かさを分けてもらわれない限り癒されない。

農村はそれぞれ異なる風土の豊かさの守り手である。人々が身体で自然と対話する中で培ってきた技や知恵の宝庫である。都市に向かつては、もう経済的な豊かさを追いつめるのはほどほどにして、風土の豊かさとのバランスを取ってはどうか。二十一世紀はむしろ固有の豊かさを基調にした世界をつくるのではないか。そう呼びかけるべきなのだ。

自らも経済の豊かさで都市を追いかけるのではなく、伝統の技を磨いて風土の豊かさでオンラインワンを目指せばいい。豊かさの質の転換を推し進めれば、「先進的な農村、後進的な都市」という従来の常識とは逆の図式が成り立つ。

町村は新規就農の場としてであり、体験学習の場としてであり、グリーンツーリズムの場としてであり、都市からの求めがあれば、いくらでも開放して、賑わいを取り戻せばいい。持続可能な循環型社会を念頭に置くなら、物質の循環は狭いほどいいが、人の交流は広いほどいい。都市との連帯の絆が太くなり、都市にとって掛け替えない存在になった時、町村もよみがえる。

町村の自治にとって、今、求められるのは、こうした時代の大きな転換を読み取って、危機を好機に変えるしたたかな戦略である。

地方公共団体の勤務条件等に関する調査結果

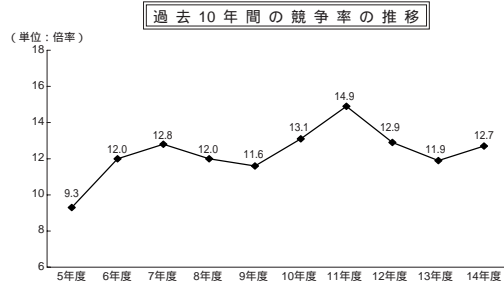
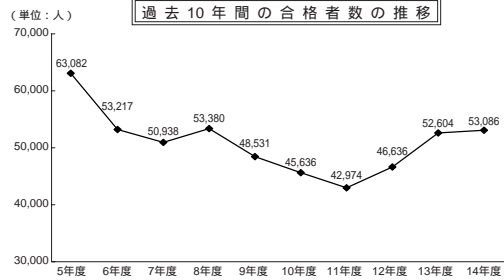
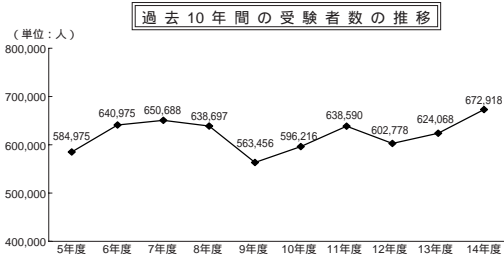
総務省はこのたび平成14年度における地方公共団体の勤務条件等に関する調査結果を公表した。

それによると採用試験では、受験者数が前年度より7・8%増加した一方、合格者数は0・9%の増加、競争率は0・8ポイント上がり12・7倍となった。また年次有給休暇や育児休業、介護休業などの取得状況が減少傾向にあることなどがわかった。

1、競争試験における受験者数、合格者数、競争率の推移

平成14年度の競争試験の受験者数は、都道府県、市区、町村の合計で

図1 過去10年間の競争試験における受験者数、合格者数、競争率の推移



672,918人(昨年度624,068人)で、合格者数は53,086人(同52,804人)、競争率は12・7倍(同11・9倍)となっている。(過去10年間の受験者数、合格者数、競争率については図1を参照)

このうち町村においては、受験者数61,907人(昨年度60,453人)、合格者数7,337人(同7,801人)、競争率8・4倍(同7・7倍)となっており、競争率は過去5年間で最高となっている。

なお、県は受験者数315,424人(同279,445人)、合格者数24,313人(同22,370人)、競争率は11・8倍(同12・4倍)であった。

6人)、競争率13・0倍(同12・5倍)で市区は受験者数295,587人(同284,170人)、合格者数21,436人(同22,427人)、合格率13・8倍(同12・7倍)であった。

この競争試験の男女別の受験者数、合格者数をみると、全体では男性が451,908人(昨年度409,985人)と受験者の67・2%(同65・7%)を占め、そのうち合格者は32,973人(同31,775人)で62・1%(同60・4%)を占めている。一方女性は、受験者数は221,010人(同214,083人)、32・8%(同34・3%)

3、464人(同47・2%)であった。

また県では男性の受験者数235,886人(74・8%)、女性79,538人(25・2%)のうち合格者数は男性18,633人(76・6%)、女性5,680人(23・4%)で、市区では男性の受験者数180,860人(61・2%)、女性114,727人(38・8%)のうち合格者数は男性10,467人(48・8%)、女性1,969人(51・2%)であった。

2、勤務時間の状況

国家公務員の勤務時間は勤務時間法第5条により、週40時間と規定されているが、これと異なる勤務時間を規定している地方公共団体について、首長部局に勤務する非現業の一般職員について調査した。

それによると都道府県、指定都市、市区、町村を併せた合計で、国と同じ勤務時間の団体が15年4月1日現在で2,768団体(14年4月1日現在、2,780団体)で、84・9%(同84・5%)を占め、国と異なる勤務時間を規定している団体が492団体(同508団体)で、15・1%(同15・5%)を占めている。

町村における勤務時間の状況は、国と同時間が2,225団体(同2,242団体)で、88・5%(同88・2%)を占め、国と異なる団体が288団体(同301団体)で、11・5%(同11・8%)を占めている。

のうち、合格者数は20,113人(同20,829人)で37・9%(同39・6%)を占めている。

町村における男女別の割合をみると、男性の受験者数が35,162人と56・8%を占め、そのうち合格者が3,873人(52・8%)であるのに対し、女性の受験者数は26,745人で43・2%

政 策

図2 年次有給休暇の使用状況

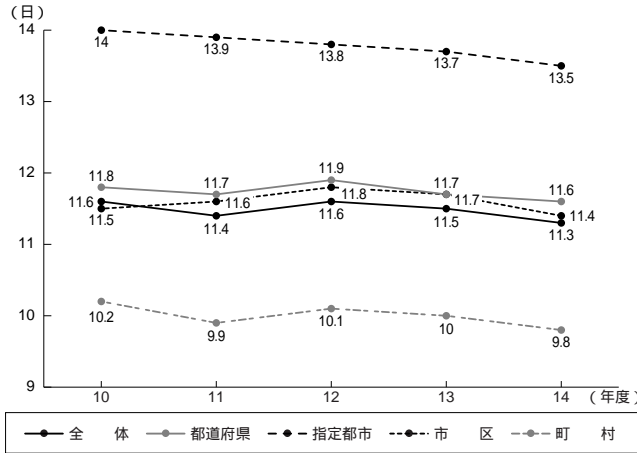


表1 育児休業等の利用状況

	育児休業 取得者数	うち両休業 取得者数	部分休業 取得者数	平成14年度中に新たに育児休業が取得可能となつた職員 (育児休業 対象者数)		
				うち育児休 業取得者数	うち両休業 取得者数	うち部分休 業取得者数
男性職員	233	4	57	44,359	175 (0.4%)	15
女性職員	37,778	369	1,863	38,782	36,627 (94.4%)	523
計	38,011	373	1,920	83,141	36,802	538
	25,989	477	454			

(注) 1. 「育児休業取得者数、部分休業取得者数、うち両休業取得者数」欄の上段は平成14年度の新規取得者の、下段には休業の期間が引き続いている者の数である。
 2. 平成14年度に育児休業を新規に取得した者の数の中には、平成13年度中に育児休業が取得可能となつて平成14年度に新規に育児休業を取得した者も含まれる。

平成14年度に介護休業を利用した職員は、男性774人、女性3,608人の合計4,382人であった。要介護者の本人との続柄をみると、「父母」が1,987人で45.3%と最も多くを占め、以下「子」1,301人(29.7%)、「配偶者」701人(16.1%)の順であった。

5、介護休業の利用状況

平成14年度中に新たに育児休業が取得可能となつた職員については、男性が44、女性が38、782人のうち取得した者が36、627人(94.4%)であった。取得率については、男性は今回初めての調査であったが、女性は前年度より2ポイント減少している。

安全衛生管理体制の整備状況を調査した結果、総括安全衛生管理者については、「選任を要する事業所」622のうち「選任している事業所」が617(99.2%)、安全管理者については、「選任を要する事業所」13、142のうち「選任している事業所」が12、387(94.3%)、安全衛生推進者等については、「選任を要する事業所」54、351のうち「選任している事業所」が40、754(75.0%)、産業医については、「選任を要する事業所」13、142のうち「選任している事業所」が12、299(93.6%)、安全委員会については、「設置を要する事業所」1、295のうち「設置している事業所」が1、252(96.7%)、衛生委員会については、「設置を要する事業所」13、142のうち「設置している事業所」が11、569(88.0%)であった。

6、安全衛生管理体制の整備状況

安全衛生管理体制の整備状況を調査した結果、総括安全衛生管理者については、「選任を要する事業所」622のうち「選任している事業所」が617(99.2%)、安全管理者については、「選任を要する事業所」13、142のうち「選任している事業所」が12、387(94.3%)、安全衛生推進者等については、「選任を要する事業所」54、351のうち「選任している事業所」が40、754(75.0%)、産業医については、「選任を要する事業所」13、142のうち「選任している事業所」が12、299(93.6%)、安全委員会については、「設置を要する事業所」1、295のうち「設置している事業所」が1、252(96.7%)、衛生委員会については、「設置を要する事業所」13、142のうち「設置している事業所」が11、569(88.0%)であった。

3、年次有給休暇の使用状況
 一般職員のうち平成14年1月1日から12月31日まで在職した者について年次有給休暇の使用状況を調査した結果、全団体の平均使用日数は11.3日(13年は11.5日)であった。団体別の内訳を見ると、町村では9.8日(同10.0日)、都道府県11.6日(同11.7日)、指定都市13.5日(同13.7日)、市区11.4日(同11.7日)となっており、町村における有給休暇の使用日数が最も少なく、またわずかではあるが全体的に使用日数は減少している。(図2参照)

4、育児休業等の利用状況
 平成14年度に育児休業を取得した職員は、男性233人、女性37、778人であり、部分休業取得者は、男性57人、女性1、863人で両休業取得者は男性4人、女性369人であった。(表1参照)
 また育児休業承認期間は、「3月以下」が111人で47.6%、以下「3月超え6月以下」が52

人で22.3%、「9月超え1年以下」が40人で17.2%の順であるのに対し、女性は「9月超え1年以下」が16、596人で43.9%、以下「1年超え1年3月以下」が4、445人で11.8%、「6月超え9月以下」が4、334人で11.5%の順であった。

平成14年度中に新たに育児休業が取得可能となつた職員については、男性が44、女性が38、782人のうち取得した者が36、627人(94.4%)であった。取得率については、男性は今回初めての調査であったが、女性は前年度より2ポイント減少している。

現 地 レ ポ ー ト

平成14年度地域づくり総務大臣表彰「住民参加のまちづくり部門」受賞

住民と行政の
協働による鳴き砂保護

琴引浜鳴き砂文化館

あみ の ちょう

京都府

網野町

このちりめん産業に代わるものとして発展してきたのが観光産業で、現在、町内には約90軒の旅館・民宿があり、年間50万人前後の入込客でにぎわいます。日本海の新鮮な海の幸や温泉を中心にした観光ですが、美しく変化に富んだ海岸線も魅力ある観光資源であり、その保全是観光面からも重要視されているところです。

本町には白砂青松の砂浜海岸が3ヶ所ありますが、その内の一つが鳴き砂の浜として有名な琴引浜です。全長1、800mの浜すべ

古くから、着物素材である絹織物・丹後ちりめんの里として発展してきましたが、長引く不況や国民の着物離れ等により、ちりめんの生産量も最盛期の八分の一にまで落込み、住民生活に深刻な影を落としています。

網野町は、京都府の最北端の丹後半島に位置する人口約16、000人の町です。町内の21kmの海岸線は、砂浜と岩礁が交互に連なり、四季折々の美しい景観に包まれて人々が暮らしています。

 網野町の概況


フォーラム



●白砂青松の琴引浜

てが鳴き砂であり、規模の大きさと鳴き砂の質の良さに加えて、コンクリート構造物のない風光明媚な自然海岸であることから、日本一の鳴き砂の浜であるといわれています。また、町文化財に指定されているほか「日本の白砂青松百選」「残したい日本の音風景百選」「日本の渚百選」にも選定されています。

鳴き砂(鳴り砂ともいう)とは、足を踏むように歩いたり、手で砂をはくようにするとクツクツと心地よい音で鳴く砂のことです。砂の主成分は石英ですが、汚れるとたちまち鳴かなくなるといふ非常に繊細な性質を持っています。

本町では、この貴重な鳴き砂を保護していくために、住民と行政が手を携えて様々な取組が続けら

れています。

自然の神秘「鳴き砂」を守る

琴引浜の鳴き砂を保護する住民団体として、昭和62年に設立された「琴引浜の鳴り砂を守る会」(以下、守る会という。)があり、十数年の長きにわたり様々な活動を続けています。設立当初は、浜の清掃、鳴き砂保護チラシの配布や横断幕の設置などの活動が中心でしたが、現在では、浜の清掃は地元観光協会が日常的に行うようになりました。守る会は、重油や大量のゴミが漂着した時に対応するだけでよい体制がつくられています。近年は、自然環境保護のシンポジウムの開催、「全国鳴き砂(鳴り砂)サミット」への参加、浜への流入河川の水質調査、漂着物展の開催、浜の後背地の植林など様々な活動に取組んでいます。

この守る会の活動と呼応するよう、網野町ではこれまでに、町文化財の指定、琴引浜観光資源調査の実施、「鳴き砂の保護と活用を考えるシンポジウム」の開催、鳴き砂保護対策の策定、啓発看板の設置や啓発冊子の作成などに取組んできました。中でも、10年前に全国の鳴き砂をもつ市町村に呼びかけ、本町において「全国鳴き砂サミット」を開催したことが契機となって、「全国鳴き砂(鳴り砂)ネットワーク」(現在、15市町で構成)が組織され、保護活動の輪が全国に広がっていきました。

このサミットはネットワークの主催により、毎年、場所を変えて続けられています。

サミットも10年も続けていますと中だるみになったりマンネリに陥ったりするものですが、鳴き砂サミットは年々盛況になっていく感があります。10年前のサミットの参加団体は圧倒的に行政が多かったのですが、10年の間に各地に住民による保護団体が設立され、現在では住民団体が主体となったサミットになっています。一年に一度、保護活動の内容を交流することによりお互いが刺激しあい、次の活動の糧にするという相乗効果が生まれてきています。

今年度も7月26、27日に石川県門前町において「地域活動が支える鳴き砂の保全」というテーマで10回目のサミットが行われ、北海道から九州まで12市町から約60名が集まりました。中でも、室蘭市の「イタンキ浜鳴り砂を守る会」の皆さんは、女性6名、男性5名の計11名がフェリーを利用して参加されましたが、2日間のサミットに5泊6日の日程で参加されるという熱意には頭が下がる思いでした。このように、鳴き砂サミットは住民の鳴き砂保護に対する熱い思いで支えられていることから、活気に満ちたものとなっています。

全国初、条例による禁煙ビーチ

鳴き砂の大敵は、ホコリや泥、

油などですが、地元中学生が作成した標語「鳴き砂も 灰と混ざれば ただの砂」のとおり、タバコの灰が砂に混ざるとたちまち鳴かなくなってしまうです。

長年、琴引浜で漂着物調査をしている京都市の東山高校地学部の生徒たちが、平成7年の夏の終わりに、波打ち際に打ち寄せられているタバコの吸い殻を調査した結果、1万本近い数の吸い殻を確認しました。琴引浜では夏になると海水浴客でいっぱいになるので、海水浴客が吸うタバコの灰が鳴き砂をダメにしていることがはっきりしたわけです。

さらに平成10年には、京都府が行っている丹後オープンカレッジの取組として、立命館大学の学生諸君が海水浴客を対象に、琴引浜を禁煙にすることの賛否を問うアンケート調査を行った結果、禁煙にすることに賛成という人が85%を占めました。

これらの調査は守る会の人たちに大きな勇気を与え、11年から地元独自で琴引浜を禁煙ビーチにする取組を始めました。禁煙を呼びかける看板を設置したり、チラシを配布したり、放送で呼びかける等の取組を行った結果、ポイ捨てされた吸い殻は例年の半分以下に減るといふ大きな成果をあげました。しかし、禁煙の協力をお願いするという強制力のない取組であったため、完全禁煙というわけにはいかず、ポケット灰皿を配布

フォーラム

●手作りの展示施設(鳴き砂文化会館)



するなど中途半端な取組になってしまいました。

この取組を行政として支援するために制定したのが、「網野町美しいふるさとづくり条例」(平成13年7月施行)です。

この条例に基づき、琴引浜を特別保護区域に指定し、砂浜での喫

煙、花火、キャンプ、炊飯等を禁止するとともに、守る会を環境保護団体に認定し、監視や指導する権限を与えました。

守る会は、夏季の海水浴シーズンの土、日を中心に午前と午後の2回、会員が浜辺をパトロールし、喫煙者に対する指導、啓発を行っています。条例では、違反者には付近の清掃や環境保全講習の受講を命令するとしていますが、パトロール員の呼掛けに喫煙者も素直に応じていただいております。現在まで命令に至った事例は1件もありません。

また、以前は海水浴シーズンに入るとすぐに鳴かなくなっていた砂も、鳴く期間や範囲が広がってきたという成果も上がってきております。パトロールする会員からは、条例ができて指導しやすくなったとの声も聞かれるほか、家族連れのお客さんの中には、タバコを吸おうとしている父親に向かって子どもが「禁煙だよ」と注意するようなほほえましい風景も見られるようになり喜んでおります。

☐砂も文化の仲間入り

住民の長年の願いであった鳴き砂保護の拠点施設として、一昨年10月に「琴引浜鳴き砂文化館」が完成、オープンしました。

この施設は、住民と行政による長年の鳴き砂保護活動が評価され、(財)日本ナショナルトラストが建設し、内部の展示や周辺整備

●守る会会員による海岸パトロール



を網野町が受け持つて整備されたものです。鳴き砂体験コーナーや日本、世界の鳴き砂の展示など鳴き砂をテーマにした施設としては、おそらく世界でも初めての施設です。展示内容の指導をされた鳴き砂研究の第一人者である三輪茂雄同志社大学名誉教授は、これで砂も文化の仲間入りができたコメントされています。

この整備に関しても守る会が大きな力を発揮しました。この文化館は手作り感いっぱい施設で、大変好評をいただいています。水中でも鳴く砂の体験装置など様々な鳴き砂体験装置の作成は会員が制作したものです。パネル展示用の竹製の衝立づくりでは竹の伐採から組み立てまで大勢の会員が協力して作り上げました。

☐今後の展開

網野町美しいふるさとづくり条例では、特別保護区域の指定のほか、空き缶等のゴミの散乱やふん害を特に防止する必要がある地域を重点区域に指定することとしており、今年度、4ヶ所を指定したところです。これも行政からの押付けではなく、地域住民からの自発的な申請に基づき指定を行ったもので、今後の住民による自主的な活動に期待しているところです。

これからのまちづくりのあり方として、住民と行政の協働が不可欠であるとよくいわれます。特に、地方自治体の財政基盤の脆弱化が進む中では、行政サービスのあり方や地域住民中心のまちづくりのあり方が問われています。

鳴き砂保護における住民活動を行政が支援し成果を上げているという形態は、今後の住民と行政の協働のありかたを示す好例であり、一つのモデルになりうるものと考えています。

本町は近隣の5町とともに合併し、今年4月1日に新たに「京丹後市」として発足しますが、合併するとますます地域住民の活動の重要性が増してくるものと思えます。本町の鳴き砂保護活動のような事例が広がっていくような新市となることを願うとともに、それを支える施策の立案が、行政の責務ではないかと考えています。

(網野町企画振興課 三浦 到)

情 報

カプセル Now & New

高校入学者に支援金を 青森県 深浦町

町は、町内にある県立深浦高校の入学者の増加を図っていくため、平成十六年度入学者に対して一律一〇万円の支援金を支給することにした。同高校は普通科と商業科の一年生一クラスずつで、定員は計七〇人だが、入学者はここ数年三五人程度にとどまっている。

「日米友好の木」として 秋田県 象潟町

町は、姉妹都市ワシントン州アナコーテス市の住民から北米産スギの苗木一〇本を寄贈されたを受け、「日米友好の木」として役場前などに植樹した。東京大空襲に参戦した元米空軍パイロットの長男が平和を願いつつ世界した父の遺志を汲んで平和の象徴として送ったもの。

小学生全員に 福島県 岩瀬村

町は、低年齢層をねらった誘拐や監禁事件などが全国で多発し、隣接する市でも事件が起こったことから、村内の小学校児童全員に防犯ブザーを無料で配布した。登下校の際にブザーを携行してもらうとともに、村民に対し子どもたちの安全への心配りを呼びかけている。

首都圏企業を対象に 茨城県 八郷町

町は、観光客の増加を図っていくため、首都圏の企業を対象

にした観光客誘致に取り組んでいる。ナシや柿などの観果樹園のPRや炭焼きなどの農業体験、座禅やスカイスポーツの講習会などを行い、企業に勤務する社員とその家族に町の魅力アピールしている。

広重の「東海道五拾三次」 栃木県 馬頭町

町は、歌川広重の浮世絵「東海道五拾三次」を購入することにし、準備を進めている。購入予定の作品は、五五枚の浮世絵からなる「保永堂版・東海道五拾三次之内」で、天保三年ころに出版されたもの。町では平成十二年に開館した町広重美術館の目玉にしたい考え。

能登空港利用者の 石川県 中島町

能登演劇堂に一級の演者を呼んで演劇や狂言、コンサートを催している町は、羽田から航空便で能登空港を利用して能登演劇堂の舞台鑑賞に訪れる人などを対象に、航空運賃片道につき二千元を補助している。また、能登空港から羽田便を利用する町民の航空賃も補助している。

生ごみの堆肥化事業を 愛知県 大口町

町は、生ごみの堆肥化事業を試験的に推進している。学識経験者や工場経営者、農家などで構成する検討会議での検討を受け試行導入したもので、地元高齢者などが参加するグラウンドゴルフクラブ会員に生ごみの収集を委託。堆肥の有効性をPR

し需要を喚起している。

廃食油をこみ収集車の三重県燃料に使用 二見町

町は、町内全世帯に家庭から出る廃食油の回収容器を配布し、廃食油のリサイクルに取り組んでいる。回収した廃食油はバイオディーゼル燃料に精製し、町のみ収集車の燃料として使用している。軽油と比べ有害物質の排出が少なく環境汚染を防げるほか、価格が安いのも利点。

滞在型市民農園の 兵庫県 八千代町

都市住民を対象にしたコテージ付き滞在型市民農園の整備を推進している町は、三か所目に当たる、大和クラインガルテン（仮称）のオープンを春に控え、三〇区画の利用者を募集した。利用者と地域住民との交流を促進し、都市住民の定住化を目指すのがねらい。

公民館運営の民間委託 山口県 阿東町

町は、経費削減のため、平成十七年度から公民館運営を民間に委託する方向で検討を進めている。素案では、館長と主事は地元住民から嘱託職員を採用、事務職員はアルバイトに切り替え、各種行事は町が支払う運営委託費に基づいて公民館ごとの運営協議会が実施する。

町営福祉バスを運行 愛媛県 吉田町

町は、民間バス路線が平成十五年十月に廃止されたことから、町営福祉バスの運行してい

る。運行区間は二路線で、ともに沿線に病院や福祉施設などがある町の基幹路線に当たる。定員九人のワゴン車を使用し、運賃は片道一律百円。土、日、祝日を除く毎日運行している。

就学前の子どもの 福岡県 津屋崎町

町は、子育て支援の一環として、乳幼児医療費支給制度の対象年齢を三歳未満から就学前の子どもにまで広げ、町独自に通院費の自己負担分を助成している。同制度は県と市町村が医療費自己負担分を助成する制度で、入院費については就学前まで無料化となっている。

町内業者に発注した 宮崎県 清武町

町は、町内の業者に発注して住宅をリフォームした場合、最高一五万円を補助する事業を行っている。住宅関連投資を促すことで、地域の産業活性化を図り、雇用創出につなげるのがねらいで、工費費が二〇万円以上の場合に十五%を補助する。

環境美化推進条例を 鹿児島県 樋脇町

町は、町や町民、事業者が協力して美化活動に取り組み、良好な生活環境を確保するため、環境美化推進条例を制定した。空き缶や吸い殻のポイ捨て禁止、チラシなど屋外宣伝物の散乱禁止や清掃などを義務付け、罰則規定も盛り込んでいる。

カプセル Now & New

情 報

健康に生き抜く石法
ニユートラルな
表現を考える

パート2

下田医院・院長 下田哲也

慢性的な病気をもちの方で、「毎日薬を飲まなければならぬ」とおっしゃる方、たくさんいらっしゃいます。私、そんな方々に「飲まなきゃいけない」ではなく、「飲んでいればよい」と考えるべきだ、といった提言をしてきたつもりです。

で、前回の私、そんな発想の転換をするためのワンステップとして、価値判断を含まないニユートラルな表現でご自身の状況を捉えなおしてみたいかが？ ということ(つまり「飲まなきゃいけない」と考えようが「飲めばいい」と考えようがやっていることは同じ、「飲んで生活している」わけです。これがニユートラルな表現)として、「割り切っておきらめるべきことはあきらめちゃう」ことをお勧めもいたしました。そんなことを偉そうに書いていたら、とある患者さんにいわれました。「先生、でもそれって敗北思想じゃありませんか?」と。

ゲームの世界で

価値観の多様な領域をたとえに使うと話がややこしくなりますから、単純に「勝つ」ことが目的の囲碁にたとえを求めましょう。

およそ囲碁の達人は「捨て石もつまみ人」です。上級の人に打つてもらうとき、彼の石を取ってしまえそうな局面に出くわすことが間々あります。しかし、へボの私などが喜び勇んで「上級者の石を取った」結果は多くの場合、悲惨なことになっているものなのです。

囲碁をご存じの読者には蛇足ですが、囲碁とは黒石と白石を交互に打ち陣地を囲い合うゲームでして、局的には相手の石を取ってしまったほうがよいのですが、上級の人は局地的な利を相手に譲り大局的な勝負をものにするテクニクを使うのです。これ、言葉を変えれば「局地をうまくあきらめる」と表現できることだと思いませんか?

さて、碁打ちとしては情けない腕前の私ではありますが、ゲームの強さというのは相対的なものでして、私ですら相手にハンデを与えて打つ機会もあります。下手な人と打っていて感じるのには「下手はあきらめない」のです。逆に彼我の技量の差が生む余裕でか、こちらには「状況を明らかに見て石を捨てる」作戦が浮かんでくるものなのです。

こんなことを書きますと囲碁に通じている読者からは「うまくあきら

めるというが、それが難しいんじゃないか。」とお叱りを受けそうです。確かにいうは易く、ではあるのですが、そうおっしゃる方は私と同等以上の腕前をおもちと拝察いたします。へボの私に石を置くような初心者は「石をあきらめる」という選択肢を発想することすら難しいというのは事実です。

大局の見地から部分を「あきらめる」ことは決して敗北思想ではなく、うまく石を捨てられるようになったとき囲碁の世界がより豊かになることは囲碁上級の読者にもご賛同いただけることと信じております。

傍目八目

小見出しは傍観者のほうがよい手が発見できるという諺ですが、もともと囲碁の世界から発生したものです。うまくあきらめるためには、状況を冷静に「明らかに見る」ことが必要です。そのためには傍観者の立場からものごとを考えたいほうがよいことが多いわけです。

囲碁ですべての石を「あきらめたらぼろ負け。あきらめるべきところ、あきらめてはいけないところを冷静に判断することが必要。そのために、傍観者の立場、つまり私のいう「ニユートラルな表現を考える」ことがけっこう役立つと思います。よく囲碁は人生そのものにとえられます。みなさまが人生を「健康に生き抜く」ための参考にいかがでしょうか? と思っただけです。

損害保険

代理店

株式会社 千 里 (ちさと)

〒100-0014

東京都千代田区永田町 1 - 11 - 32 全国町村会館西館内

☎ 03 - 5512 - 4726(代)

営業所(全国24か所)

情 報

政策リーダー

政策リーダー

平成十四年度国保財政状況
まとめる 厚生労働省

厚生労働省はこのほど、平成十四年度市町村国民健康保険の財政状況(速報)を公表した。

一般被保険者分と退職被保険者分を合わせた収入合計は九兆五、七二六億円、支出合計は九兆三、七四二億円となっており、収支差引額は一、九八四億円となっているものの、国庫支出金精算額等を考慮した差引額は九二億円の赤字、さらに、一般会計繰入金のうち赤字補填を目的とするものを収入から除くと、四一〇億円の赤字となる。

このうち、一般被保険者分は収入合計七兆三、七三二億円、支出合計七兆一、六三七億円、収支差引額は二、〇九五億円の黒字となっているものの、単年度収支差引額では三五〇億円の赤字となっている。

単年度収支での黒字保険者は一、一七三保険者(前年度比五〇保険者減)で、その総額は三九四億円となっているのに対し、赤字保険者は二、〇五一保険者(同三九九保険者増)で、その総額は一、二〇一億円(同五二億円増)の赤字となっている。また、保険料(税)の収納状況では、全国平均九〇・三九%(同・四八%減)に対し、市部平均八九・三八%(同・四七%減)、町村部平均九三・八六%(同・五一%減)となっており、収納率一〇%の保険者も六二保険者(同一六保険者減)と減少傾向にある。

平成十五年度特別交付税
(十二月份)を配分 総務省

麻生太郎総務大臣は十二月十六日の閣議に、平成十五年度特別交付税の十二月交付額を報告した。

特別交付税は、毎年度十二月と三月に交付しているもので、平成十五年度の総額は一兆八三八億三、七〇〇万円(前年度比七・六%減)となっている。このうち、今回交付された十二月分は、二、八二三億五、〇〇〇万円(同一三・八%減)となっており、内訳は、道府県分が六七〇億円三、六〇〇万円(同一二・一%減)、市町村分が二、一五三億一、四〇〇万円(同一四・三%減)となっている。

各項目ごとに見ると、合併関係経費は、前年度同期の二・五倍にあたる二五二億七、五〇〇億円となっており、市町村の電算システムの更新経費や道府県の補助金などに充てる。冷害対策経費は七八億七、八〇〇万円、東北地方を中心とした被害に手当てすることとなっている。

また、災害に対する交付額は、二四二億四、三〇〇万円(同七八・四%増)となっており、七月の熊本、福岡両県の豪雨災害や同月の宮城県北部地震など、災害救助法の適用を受けた三件の災害については、需要額を二倍として見積もっている。なお、今回については、十二月十七日に現金交付されている。

農林水産環境政策基本
方針を決定 農水省

昨年十二月に開催された農林水産省の循環型社会構築・地球温暖化対策推進本部第八回会合で、「農林水産環境政策の基本方針」が決定された。

同方針では、「健全な水、大気、物質の循環の維持・増進と豊かな自然環境の保全・形成のための施策展開」を狙いとしており、大量生産、消費、廃棄社会から持続可能な社会への転換、農林水産業の自然循環機能の発揮、農林漁業者の自主努力と消費者の理解・支援、都市と農山漁村との共生・対流、農水省による環境保全型農林水産業の支援等五つの基本認識を提示。

次に基本方針として、情報開示、国民の意見を反映した政策づくり、住民やNPOなどの施策への参加や、施策ごとの目標設定と評価、科学的知見に基づく施策実施、農水省の業務に対する環境マネジメントシステムの導入、等十項目を掲げ、各項目で実施する具体的な施策の内容、平成二十年度までの取組の進展を示す工程表も作成した。また、水、大気、物質の健全な循環や農山漁村の保全について各分野ごとに施策の方向を明確にするとともに、試験研究・技術開発や環境教育、食育の推進にも触れている。最後に今後の検討事項として、農地・農業用水等地域資源、より高レベルの環境保全を可能とする農業の実現、地球温暖化防止森林吸収源対策、水産業・漁村の多面的機能の発揮、等のための施策の検討を挙げている。

くつろぎと機能が調和する 都心の快適空間です。

官公庁ビルの立ち並ぶ霞ヶ関のほど近く、都心にありながら、

喧騒を離れた、心落ち着ける空間として全国町村会館は

多くの皆様にご利用いただいております。

静かでゆったりとした客室に、味わい豊かなお料理。

一流ホテル(帝国ホテルグループ)との提携による

上質なサービスで皆様をお迎えいたします。

町村主催の各種行事に

自治大学校などの交友会に

職員旅行・家族旅行に

小・中学校の東京での行事参加に

やすらぎを大切にした客室

客室は、静かさと心地よさに配慮し、全室を7階以上に配置いたしました。室内インテリア全体を落ち着いた雰囲気にとりまとめ、ゆったりとしたやすらぎのひとつをお過ごしいただけます。また、会議室やホール、レストランと和食処、ホテルショップなどの施設も充実しております。

土・日・祝日で宿泊は、
通常料金より20%割引でご利用いただけます。

※金曜のご宿泊にも、通常料金の15%OFFにてご利用いただけます。

シングル 131室 通常料金 8,500円より ツイン 18室 通常料金 16,000円より

シングル 6,800円より ツイン 12,800円より



シングル

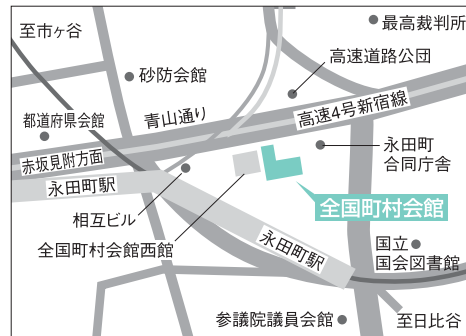
ご予約・お問い合わせは



都心に近く便利なロケーション

東京での活動拠点として最適なロケーションです。会議や研修、パーティーなど用途に応じて幅広くご利用いただけます。

※宴会場ご利用のお客様の地元特産品などの持ち込みは自由です。
※ご宴会のお料理は、ご希望とご予算に応じてご用意いたします。



【交通案内】
 ■有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分
 ■丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩5分
 ■タクシー 東京駅から約20分

●東京ディズニーランド／地下鉄永田町駅からJR舞浜駅まで約34分
 ●浅草／地下鉄赤坂見附駅から浅草駅まで約27分
 ●東京タワー／地下鉄永田町駅から御成門駅まで約25分
 ●東京ドーム／地下鉄永田町駅から後楽園駅まで約10分
 ●東京都庁展望台／地下鉄赤坂見附駅から新宿駅まで約10分

市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。

 **全国町村会館** TEL:03(3581)0471 FAX:03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号 <http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>